

福寿園だより

Vol. 69
平成29年4月10日発行



- ◆特別養護老人ホーム福寿園…………… 定員100名
(うちショートステイ20名)
- ◆ケアハウスさくら荘…………… 定員30名
- ◆福寿園デイサービスセンター…………… 定員42名
(うち認知症12名)
- ◆福寿園ヘルパーステーション
- ◆福寿園居宅介護支援センター
- ◆原町東地域包括支援センター

編集
発行

社会福祉法人 南相馬福祉会
福寿園 広報委員会

〒975-0033 福島県南相馬市原町区高見町2-70
TEL (0244) 25-2811
FAX (0244) 25-2812
URL <http://minamisoma.ask-daiko.co.jp/>
MAIL fukujuen@chive.ocn.ne.jp



春



夏



冬



秋



医療・介護の課題など、この地域の生活を取り巻く現状は益々厳しいものとなっておりますが、社会福祉法人に課せられた使命を見つめ直し、地域に無くてはならない組織として貢献できるよう、微力ながら精進してまいりますので、前任者同様のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「施設はその施設長以上の色には染まらない」と言われることがあります。経営のトップに立つ施設長の責務がいかに重いのかを指し示す言葉ではありませんが、経営者ががむしゃらに突き進んでも下の者がついてこれなければ何の意味も持ちません。また、施設長以上になれないと決めつけられても困ります。幸いに当法人には、当地域の高齢者福祉に対する熱い情熱を持つ、優秀なスタッフが数多く在籍いたしております。当法人の強みは、組織力であり、人材力であると自負しています。

4月1日より福寿園施設長として着任いたしました。福寿園には平成23年以来6年ぶりの勤務となります。この間、万葉園・たんぼ施設長として利用者ご家族はもとより、多くの地域の皆様に支えられ、その職責を何とか務めることが出来ました。



福寿園施設長
菅原 武

着任のごあいさつ



特別養護
老人ホーム **福寿園**

歓迎 **風の会様**

今年ひな壇を浴室前とわかばエリアに飾りました。大きなひな壇を前にご利用者は「綺麗だね」と喜ばれていました。

3月12日には風の会の皆様が歌の披露をしてくださりました。



ケアハウス **さくら荘**

3月2日(木)、小藤流10名の皆様より日本舞踊と歌謡舞踊を披露していただきました。素敵な舞にうっとり。心利むひと時となりました。



この度、原町東地域包括支援センターの事務所が移転いたしました。また、4月から職員が1名増員となり、総勢7名となりました。事業方針である「地域の身近な相談窓口」、「一人ひとりの想いを大切に住民慣れた地域で安心して暮らせるように」を常に心にとどめ、実践できるように、職員一同精進してまいります。事務所の場所が変更となっておりますので、今後お間違えの無いよう、宜しくお願いいたします。

事務所移転のお知らせ

こんにちは
**原町東地域
包括支援センター**
です!

かけはし
福寿園居宅介護支援センター

相双医療圏退院調整ルール

ご利用者が病院から安心して退院でき、必要な支援が受けられるようにと、昨年からは相双医療圏内の病院関係者・ケアマネジャー・市町村・地域包括支援センター・関係団体等が8か月間にわたり検討・協議を行い、病院とケアマネジャーが連携を取りやすくなるための「相双医療圏退院調整ルール」を策定しました。

入院前から担当ケアマネジャーがいるご利用者はもちろん、担当ケアマネジャーが決まっていなくても退院時の調整が必要と判断された方は、地域包括支援センターへ繋ぎ、介護保険の申請や調整を行います。ご利用者が、退院後に必要な介護サービスを受けられるよう、病院とケアマネジャーが入院中から情報を共有し、退院に向けてのカンファレンスやサービス調整等を行うこととしています。

今後とも利用者、ご家族と信頼関係を築き、住み慣れた地域での生活を安心して継続できるようお手伝いいたしますので、居宅介護支援センターへ、お気軽にご相談下さい。

ハッピーデー
(福寿園デイサービス)

1月~3月の行事

1月、今年最初の行事「新年から取り」を開催。お正月の風物詩であるかるた取りは、ご利用者に馴染みのある遊びです。

優勝賞品やラッキー賞を準備しており、景品をかけて「はい!」「ほら、あそこにある!」と、皆さん札に向かって真剣な面持ちで手を伸ばしていたのが印象的でした。職員による足踊りも大好評でした。



2月は「節分寸劇 桃太郎鬼倒し」を行いました。寸劇では、ご利用者の皆さんにも「お爺さん」と「猿」役で協力して頂きました。自宅から配役用の小物を持参し、当日の寸劇に備えてくださった方も。

デイサービスセンターの鬼はとても陽気で優しい鬼ばかりで、寸劇の最中はずっと笑い声が響いていました。



3月3日(金)には「雛祭り 桜もち作り」を実施。生地を食紅で色付けし、薄くのぼして焼き上げた後、中にあんこを挟んで、桜の葉で包めば「桜もち」の完成です。見た目、匂い、味のすべてが大満足の仕上がりでした。



機能訓練指導員の仕事とは

福寿園デイサービスセンター
主任機能訓練指導員

島田 聖子

デイサービスの機能訓練指導員の仕事は、3ヶ月毎に①~⑤を繰り返し行います。

- ①ご利用者の心身機能の評価をする(身体状態や生活状況・本人や家族のニーズを把握する)。
- ②①の情報をもとに個別機能訓練計画書を作成(個人に合わせた目標・機能訓練プログラムを決定)。
- ③計画書の内容をご利用者・ご家族に説明し、同意を得る。
- ④機能訓練(歩行練習・日常生活動作訓練・筋力トレーニング・体操・レクリエーション等)を実施する。
- ⑤3ヶ月後、心身機能の変化や目標が達成出来ているかを評価し、プログラムの内容や運動量・頻度など変更があれば計画を見直す。

ご利用者が健康で、できる限り「自立した生活」を送れるように手助けをするのが機能訓練指導員であり、それを実行する上で重要なのが他職種スタッフ(介護職員・看護職員・生活相談員)との連携です。機能訓練指導員が専門的に行う事と、他職種でも出来る事(集団プログラム)があります。ご利用者が少しでも自立に近づけるよう、他職種スタッフの協力を得ながら毎日取り組んでいます。



内部研修

「高齢者と医療」をテーマに、特別養護老人ホーム福寿園主任看護職員の遠藤八千代さんに講義いただきました。

高齢者特有の病態や日常の観察のポイント、緊急時に医療職へつなげるための具体的な対応方法について学びました。

平成27年度からの移行期間を経て、今年4月に完全移行となる「総合事業」。これは、公的サービスに頼る前に自分でできることは自分で行う（自助）ことを原則に、地域の互助を推進し、その上で共助、それでも対応できない場合には公助という考え方により、介護予防サービスの一部を本体給付から外し、自治体独自の給付へと移す事業です。

「医療・介護一体改革」に向けた制度改革の第一歩として、「医療から介護へ」、「施設から在宅へ」の方向を踏まえた改革だといわれています。

社会保障の考え方としての「自助・互助・共助・公助」と「地域包括ケアシステム」。「重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるような仕組み作り」の完成に向けた位置づけでもあると思われまます。少し難しい話になってしまいましたが、ご利用者にご利用者から自分らしい暮らしを送っていただくため、私たちホームヘルパーがお手伝いさせていただきますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

愛 *こんたくと！

ヘルパーステーション

要支援者の

総合事業って何？

いつもありがとうございます

寄付 (12月16日～3月15日)

- ◎ 池田ちず子様 (原町区上北高平)
 - ◎ 門馬 勝秀様 (原町区高見町)
 - ◎ 杉 輝夫様 (小高区大井)
 - ◎ 佐藤 浩宣様 (小高区蛭沢)
 - ◎ 中野 恵一様 (原町区上太田)
 - ◎ 吉田 和代様 (原町区南町)
 - ◎ 大和田篤史様 (原町区北原)
 - ◎ 佐藤 安信様 (鹿島区寺内)
 - ◎ 泉 博裕様 (鹿島区寺内)
- 寄付金

寄贈 (12月16日～3月15日)

- ◎ 藤本 好美様 (鹿島区南屋形) 肉、野菜
- ◎ マスコット会 代表 夏川戸弘子様 (原町区石神)
- ◎ 田中 照子様 (原町区日の出町) 押し花

ボランティア (12月16日～3月15日)

- ◎ 特別養護老人ホーム福寿園 演奏会
- ◎ かげの会様
- ◎ ケアハウスさくら荘
- ◎ 歌の集い (第2水曜日)
- 南地区福祉委員会様

踊り

- ◎ 小藤流 (日本舞踊・歌謡舞踊) 様
- * 福寿園デイサービスセンター
- ◎ 傾聴ボランティア いちご会様
- ◎ マジック 原町マジック研究会様
- ◎ 歌 八坂会様
- ◎ 軽介助 鈴木良子様

編集後記

「染井吉野のお話」

今年も桜の季節がやってきました。鮮やかな桜色の花は見るだけで私たちをわくわくさせてくれます。

さて、わたしたちが「桜」といって思い浮かぶのは、染井吉野という品種です。エドヒガンサクラとオオシマザクラの雑種交配で生まれた桜で、単一の木を基とするクローンだそうです。

染井吉野は不完全な品種らしく、染井吉野同士で実をつけてもほとんど発芽することがなく、発芽する場合は他の品種の桜との交雑によって生まれる種たこのことです。

花が一齐に咲き、一齐に散るのは、単一の品種のため、ほぼ同じ遺伝子であることが影響をしているそう。

「あれ？それじゃあどうやって染井吉野が増えていくの？」と思ったら、他の桜の株に接ぎ木を行って苗を増やしているのだとか。そうやって増やされた染井吉野には樹齢130年を超えるものもあるそうです。何はともあれ毎年きれいな桜を眺めることができるのはうれしい限りですね。